

日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満
工藤 良一・富岡 隆

一般質問

熊本地震の教訓から提案

渡辺 満



熊本地震において、指定避難所には届いた食料などの支援物資が、自主避難をした方には行き渡らなかつた教訓から、自主防災計画に明記することを提案しました。また、迅速な罹災証明書発行の研修実施などについても提案しました。さらに、仮設住宅建設候補地のウトナイ中学校予定地と美原町公共施設用地に加え、若草中央公園を候補地とすることを提案しました。

指定管理者が即日解雇

道の駅の指定管理者が正規社員を即日解雇したことを追及し、「法令違反ではないか」と、指定の取り消しを求めましたが、「内部の是正はされている」と、指定の継続が示されました。

また、26年度と27年度の比較では、管理者の総合評価が10点も下がっている異例の事態から、公募で指定管理者を選定することを提

案。市長は「提案は承る。いずれ判断したい」と答弁しました。

『子ども食堂』を提案

北海道の子どもの貧困率23.7%で全国ワーストワンですが、苫小牧市の子どもの貧困率はさらに高く24.1%であることがあらためて示されました。この結果から、全国的に展開されている『子ども食堂』の取り組みを提案し、「前向きに取り組みたい」と答弁がありました。

また、雇用と子育て支援の視点から、若者の生の声を聞いて施策に生かすことも提案。「市民参加で幅広いチームを作って取り組んでいく」と答弁しました。

富岡 隆

認可保育園の増設を



子ども子育て新制度の施行にとともに、保育現場での事務量が増えていることを示し、「システム化をしていけば簡素化できた」と指摘し、軽減策を求めました。市は、「事務量が増え大変と認識している」と説明し、「今年度から保育士の補助を実施した」

「ICT化は断念したが、入力フォームを各法人に適用して軽減を図りたい」と答弁しました。

また、保育園の待機児童が126人もいることに触れ、「待機児童の解消には認可保育園の増設しかない」と提案。「待機児童の動向と審議会の意見を聞いて検討したい」と答弁しました。

小学校の統廃合で住民説明会

明徳小学校と錦岡小学校の統廃合での住民説明会で、多くの反対の声があがったことから、統廃合ありきの説明が理解を得られないことを指摘し、地域や保護者の声を聞いて市政運営に生かすことを強く求めました。教育長は「丁寧に説明し、理解を得るために努力していく」と答弁しました。

工藤 良一

メガネ購入の補助を



学校の眼科検診で、0.6以下だった生徒児童に對し、「黒板やプリントの字が見えているのかどうか調査をしているのか」と質問。「調査はしていないが、放置はしていない」と答弁したため、

「学力向上というが、調査もしないのは優先順位が違う」と指摘しました。

また、経済的理由でメガネの購入が難しい家庭への援助も求めました。

議案 補正予算

小野寺 幸恵



市営住宅の算定誤りで、誤算定が確認できた8年間遡って返還する補正予算が提案されたことを受け、「なぜ時効の5年を超えて返還できるのか」と質問。昨年発生した生活保護費の誤算定での返還は5年間であり、一昨年の還付加算金の誤算定では、文書保管年限(5年)を超えたものは確認できないとの理由から、5年間の返還だったため、「今後は、市民が不利益にならないように対応すべき」と提案しました。

※議会の詳細については、日本共産党市議団ホームページをご覧ください。